

教職員・院生版生協だより

かけはし

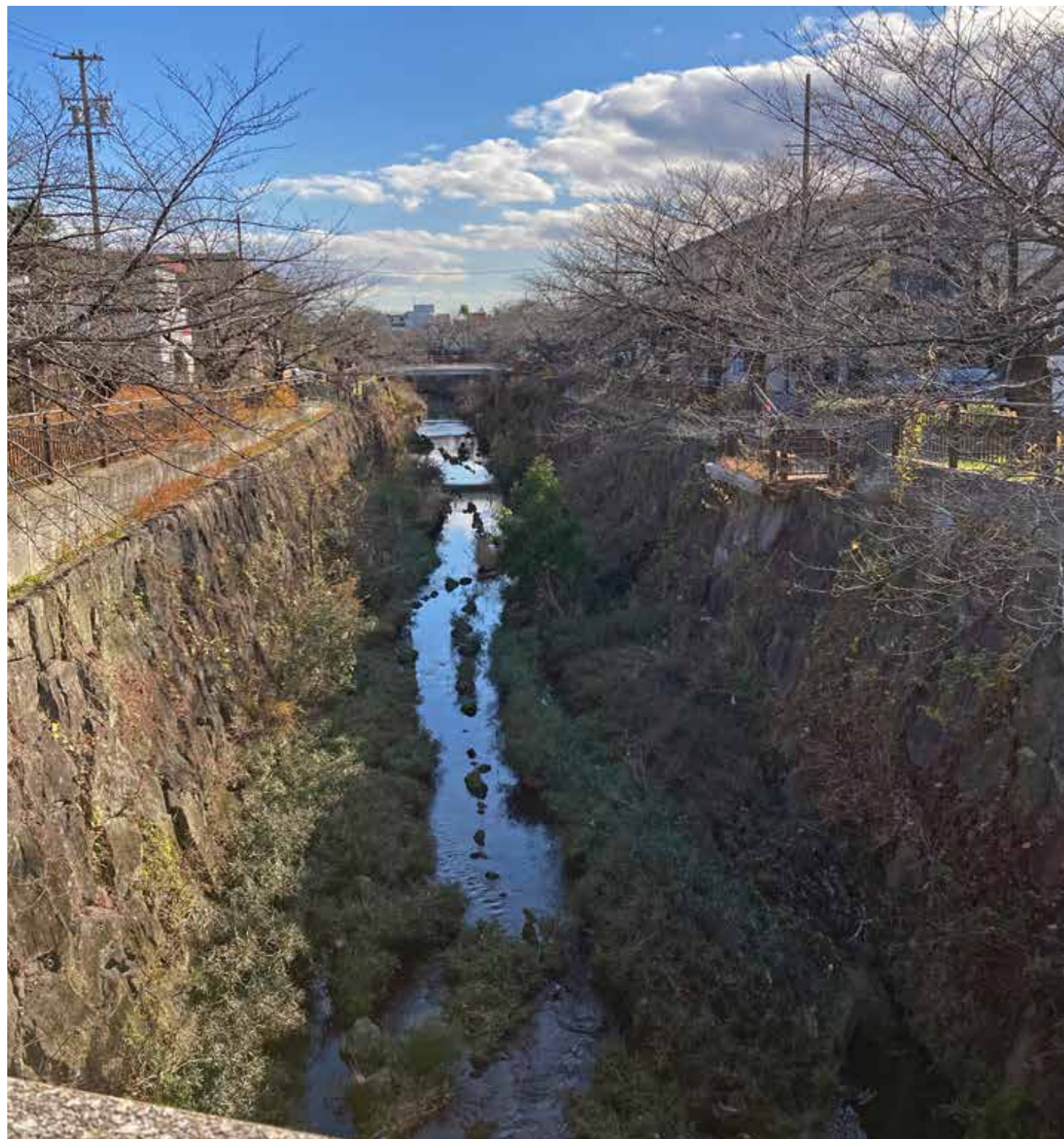
No. 365

2024年1・2月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎学内線 7540 学外線 781-1111



伊東早苗

2001 年に名古屋大学に着任して以来、あっという間に 20 年たってしまいました。その間に年もとりましたし、世界の環境も大きく変化しました。この 20 年間、学生に途上国の開発問題を教えていて感じるもっとも大きな変化は、グローバリゼーションと新興国の台頭です。私が名古屋大学に着任した当時は、まだまだ一般の日本人が途上国に気軽にしかけていける時代ではありませんでした。今では、多くの日本人が途上国に仕事や旅行に出かけています。私たち国際開発に携わる者たちは、最近ではこうした人々から、「先進国」「途上国」と分けて考える発想は時代錯誤だとか、日本経済も凋落傾向にある以上、「途上国」に対する上から目線の援助意識は捨てるべきだとか、お叱りを受けることがあります。また、最近の国内報道では途上国を「グローバル・サウスと言われる国々」と表現するようになり、新興国のリーダーシップのもとに政治的影響力を増す国々として、一体的に認識されていることが窺われます。

途上国世界のことを「グローバル・サウス」という名称で表すことは、国際開発の業界ではだいぶ以前から行われていました。その理由として、冷戦時代に途上国を指して使われた「第三世界」という概念が陳腐化したことがあります。また、途上国に共通した経済的、政治的、社会文化的、歴史的な周縁化は地理的な位置には限定されないのです。昔から「南北問題」といわれてきた「南」を「グローバル・サウス」とよぶことによって、北半球にも存在する周縁化された国や地域を包含することが意図されました。近年、「グローバル・サウス」として認識される国々の国際社会における発言力が増していることは事実ですが、もともと周縁化を共通項としている国や地域に対する総称ですし、すべての途上国が同様な発言力を行使でき

あけましておめでとうございます

理事長 原田正康



コロナがほぼ終息し、人との交流が大きく変化しています。特に、コロナで制限されていた対面での交流が戻りつつある点は大きな変化です。

名古屋大学内の教職員や学生が海外に渡航する機会も増えています。私も、ほぼ 4 年ぶりの海外出張で、中国で開催された国際会議に 5 日間滞在しました。この 4 年間、テレビ会議を通してしか話が出来なかった海外の共同研究者や友人と久しぶりに対面で会い、数式を書き合いながらの研究打ち合わせをしたり、一緒に食事しながら今後の方針に関して率直な意見交換をしたりすることができました。テレビ会議越しだと言いたいことがなかなか伝わらずにもどかしく感じていたのですが、対面だとスムーズに伝わり、研究が大きく進展しました。

名古屋大学で国際会議を開催しました。中国、韓国、イタリア、ドイツ等の海外から 20 名程度を含んで 50 名近くの対面参加者、そして、ヨーロッパ等から 10 名近くのオンライン参加者がありました。オンラインを通して遠く離れた研究者との交流が簡単にできるのはいいのですが、講演が終わった後に講演内容に関して他の参加者と率直な意見交換ができることが対面の大きな利点だと改めて感じました。

私の所属する理学部物理学科では、コロナが落ち着いてからも各種の会議はオンラインで実施しています。時間の節約にもなり効率的ですが、会議前後での情報や意見の交換の機会がなくなっています。一方で、いろいろな催し物の対面開催は再開されました。毎年 6 月 13 日に行われている物理教室憲章記念日行事も、4 年ぶりにパーティも行われました。大学院生も含めて物理教室所属メンバーが 100 人くらい参加するパーティです。物理教室の研究室はいくつかの建物に分かれているため、普段は顔を合わす機会のない教員と久しぶりに会話をし、少し異なる分野の状況に関しての情報交換や、運営に関する意見交換を行うことができました。ここでも対面での交流の重要性を再認識しました。

生協の会合も、いくつかの会議がオンラインで開催されるようになりました。名大生協の理事会は、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催することによって、会場に来ることが難しい理事も出席できるようになりました。東海地区の理事長会議は、事務局以外の多くのメンバーがオンライン参加する形式で、遠方の生協の理事長も参加しやすくなっています。一方で、11 月の理事長会議の後、教職員の交流会が対面で開催されました。多くの理事長等と、立食形式での食事をとりながら率直な意見交換をすることができ、対面交流のよさを実感しました。

今後は、コロナ禍で一気に進歩した技術に基づくオンラインを用いた効率的な情報取得と、コロナ以前から培われてきた対面での率直な意見交換を上手く組み合わせた交流形態がより充実して行くことと期待します。

今年もよろしくお願いします。

人口の 7 割に及ぶ貧困層への支援を試みる「援助の実験場」として知られていました。先進国の援助機関は、昨今では「上から目線」と批判されるに違いない援助アプローチを用いて、当時のバングラデシュ政府や市民を指導し、貧困からの脱却をめざしました。

その後、バングラデシュは豊富で安価な労働力を背景に輸出用縫製業で急成長を遂げ、2015 年には世界銀行の分類による「低中所得国」の仲間入りを果たしました。繊維産業を中心に、日本企業の進出も増加しています。そうした中で、ちょうど 1 年前、日本の援助でバングラデシュ初の都市高速鉄道「ダッカメトロ」が一部区間で開通しました。日本のインフラ輸出戦略の一環でもあるこの事業では、川崎重工が車両を、日本製鉄がレールを、日本信号が信号システムとホームドアを、東芝が蓄電ブレーキを、そして SONY が改札のフェリカを請け負ったそうです。都市交通のインフラ整備は、交通渋滞を緩和し、気候変動対策にも資すると期待される上、現地に進出する日本企業にとってのビジネス・チャンスともとらえられています。これとは違う話ですが、今年 11 月には、日本はバングラデシュと安全保障分野の連携を強化するため、改定版「開発協力大綱」に新しく盛り込まれた「OSA(=政府安全保障能力強化支援)」の枠組みを使い、バングラデシュに警備艇 4 隻を供与するとの政府発表がありました。新「開発協力大綱」の精神に則り、バングラデシュと日本は対等なパートナーとして、相互互惠的な経済発展と、中国に対する安全保障上の抑止力強化のため、日本の無償資金協力を活用するそうです。

ちなみに、両国の 2022 年における一人当たり国民総所得（名目 GNI）を比べると、バングラデシュは 2,820 ドルで、日本は 42,440 米ドルです。いくら長年の親日国とはいえ、これだけの経済格差がある中で、どこまで対等なパートナーと言えるのかは疑問のあるところですが、もちろん、国と国の力関係は経済力だけで決まるわけではありませんが、ダッカメトロの建設にみられるように、日本の援助事業を日本企業が請け負って援助資金を国内に還流する手法は、かつては「ヒモつき援助」と称されて、市民社会やメディアから大きな批判を受けました。昨今では、かつての途上国が「グローバル・サウス」になり、援助する側とされる側は対応なパートナーとして「共創」することになったので、これもまた「外交の視点」から、高く評価しなければならないのかもしれないかもしれません。

るわけではありません。

ちなみに、国際開発の専門家が「途上国」という言葉を使う時、通常は OECD（経済開発協力機構）が発表している「ODA（政府開発援助）受け取り国リスト」を前提にしています。このリストに入るかどうかは一人当たり国民総所得(GNI)の額で決まりますから、どの国が途上国でどの国が先進国であるかは、個人や集团の感覚や目線で決められているわけではありません。先進国内における日本の相対的地位は落ちているとはいえ、日本はまだ ODA の供与国であって受け取り国ではないので、今のところは「途上国」ではないのです。平等なパートナーとして、同じ目線で途上国と付き合いたいという感覚は理解できますが、現実問題として、私たちの国における一人当たり国民総所得の額と途上国のそれとには差があります。

今年 6 月 9 日、日本による「ODA（政府開発援助）」の指針である「開発協力大綱」の改定版が閣議決定されました。その前の改定は 2015 年でしたが、8 年の間に、国際社会は歴史的転換期を迎え、複合的危機にさらされているというのが少し早い改定の理由です。ロシアのウクライナ侵攻や中国の台頭、気候変動等の脅威を背景に、今まで以上に、開発協力と日本の国益及び国家安全保障を結びつける内容になりました。今回の改定には国際開発分野の専門家も複数かかわっていますが、専門家の間では、「国益重視」の援助をどう考えるかで意見が分かれています。もちろん、「国益」の解釈は多様なので、相手国のための援助をすることが長期的には日本の国益にもかなう、といってしまうえば、これまでと何らかわりはありません。しかしながら、外務省が出す「ODA 評価ガイドライン」を読むと、「被援助国の開発に役にたっているかという『開発の視点』だけではなく、日本の国益にとってどのような好ましい影響があるかという『外交の視点』からの評価を行うことが重要」と書かれています。つまり、たとえ ODA が被援助国の開発に貢献したとしても、日本に直接的な外交利益をもたらさない場合には評価が下がる、ということです。どれほど開発ニーズが高い国であっても、日本にとっての外交的なメリットの低い国については、援助の優先順位は下がる、といってもいいでしょう。

私はまだ若かりし頃、バングラデシュという国で暮らしたことがあります。バングラデシュは 1971 年に独立した若い国でしたので、私がいた 1980 年代後半でも、まだ世界で一、二を争う「最貧国」でした。世界中の援助機関や国内外の NGO が、

防災と猫と

京都大学生協教職員委員会 今山 稲子

名古屋大学生協組合員の皆さま、初めまして、京都大学生協教職員委員会委員長の今山と申します。京都大学北部キャンパスから歩いて10～15分ほどの北白川・銀閣寺道にある古いマンションに猫1匹と暮らしております。職場の京都大学では、理学研究科の生物科学図書室に勤務しています。今回は、全国大学生協教職員委員会のご縁で我が家に起こった災害と猫についてご報告させていただきます。

今年で15歳になる三毛猫のみるくは、先代のにゃんたが逝去した一年後に、かかりつけの獣医が道端で拾った保護猫です。死にかけていた生まれて間もない仔猫を、獣医はその毛色がミルクティーのようだったので「ミルク」と名付けて、「生きろ、生きろ」と励まし続けてなんとか元気にしたそうで、譲渡の際に「ミルクは私が勝手に名付けた名前ですから、新しい名前をあげてください」と言われましたが、ミルクという音はこの仔にとって大切な響きであろうと、「みるく」と名付けて今に至っています。近所の花屋さんからは「まあ、なんとも上品な毛色、このあたりでは一番の美猫かも」と褒められましたが、同じくご近所の外国人一家のところにいる、ノルウェージャンフォレストキャットのミッキーには勝てる気がしません。



ミルクとミモザ

さて本題です。2023年6月半ばのある日、風もなく小雨の降る夜のことです。時計の針は12時を回ろうとしていました。趣味のパッチワークキルトを縫っていると、なんとなく焦げ臭い臭いが漂ってきました。どうせお隣のインド人がなんか作っているのだろうと気にせず縫物を続けていると、食器が壊れる音がしてきました。今日はインド人、とうとう喧嘩まで始めたかと針の手を止めて、時間も時間だし入浴してから寝ようとマンションの通路側に面した浴室のドアを開けてびっくり!! 通路に面した小窓の外が赤々と燃えているではありませんか! この小窓は、猫一匹通れないくらいの大きさなので、防犯上も大丈夫だろうと、浴室に湿気がこもらないように常に開けている窓です。しかも窓からは火の粉まではいかないものの、灰が入ってきます。急いで玄関のドアを開けると、通路をはさんで3mあるかないかの隣接したスペイン料理店の2階がキャンプファイアーの火の如くパチパチと音を立てて燃え上がっていました。この現実を見て、逆にすっと冷静になり、浴槽には湯がはってある、とりあえずバケツで湯をくみ上げて自分の部屋の壁面、及び通路に何度かまきました。その最中にもインド人の隣の部屋に住んでいる人が、パジャマのままころころと床に転げながら「火

ミッキー（立派!!）

事よー」とバケツを持つ私の前を転がっていく姿がなんとも滑稽だったことを憶えています。その頃、やっと消防のサイレンが鳴り始めたので、部屋に戻り、まずは猫のみるくをキャリーバッグに

「グローバル・サウス」が全体として経済力を増し、政治的な発言力を強める一方、ガラパゴス化したといわれる日本企業がアジア市場で中国との競争に凌ぎを削っているわけですから、援助の目的や方法が変わるのは当然だといわれるかもしれませんが。それでも、現実存在する経済格差と、それと連動する政治力の違いをなかったものとし、「共創」という耳ざわりの良い言葉を用いて、相手国の利益と日本の国益の間に何の齟齬もないかのような言説を作り上げることには違和感があります。今年3月、数年ぶりにバングラデシュを訪れ、山手線と見間違えばかりのダッカメトロに乗車してきました。現地では、ダッカメトロの開通に国民をあげて拍手喝采しており、ダッカ市民の公共心向上や行動変容につながるとまで期待を寄せています。一方、日本の鉄道業界は国内市場の縮小に直面し、海外市場に活路を見出そうと中国と競争しているものの、長年にわたって国際規格への対応が遅れたことから、各地で苦戦を強いられています。ダッカ市民も喜んでいる以上、政府開発援助を日本の鉄道業界生き残りのために使うことを「一石二鳥」と喜んでいていいかどうか、納税者であると同時に国際開発を教える者でもある私としては複雑な気持ちです。

なごねこ便り（24）

カラー写真はこちら（https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html）から



小川 哲平（「なごねこ」サークル学生代表）

名古屋大学キャンパス内に生きる猫のいのちを守り、不幸な猫を減らすためのボランティアサークル「なごねこ」。今月のなごねこ頼りでは、保護されたクロアちゃんのストーリーを紹介しようと思います。

<発見>

クロアちゃんが発見されたのは今年六月半ばの蒸し暑い初夏の夜のこと。中央分離帯の茂みの中で子猫が一匹、親猫を呼んでいたのかずっと鳴いていました。初めは親猫がいずれ現れるだろう、と考えていたのですが三十分ほど経って戻ってきても変わらず鳴き続けています。車通りも多い山手通で、このままほかしては命に関わるかもしれない。たまたま一緒にいた前学生副代表と茂みを走り回り、やっとのことで捕獲。



翌朝開院と同時に動物病院に連れていき、必要な検査を済ませてもらったところ健康優良児そのもののこと。ほっと胸をなでおろし、一時預かりをしてくださると立候補してくれた一回生の家へと移動しました。

<譲渡>

はじめこそ鳴き続けたことによって掠れ声でしわしわだったクロアちゃんでしたが、一時預か

つめなければと嫌がるみるくを力づくで「緊急事態、お願いだから言うこと聞いて」と押し込み、通勤用の鞆に預金通帳とハンコを入れ、肩掛けにしているところへ、ドンドンとドアを叩いて「逃げてください」と消防士の叫ぶ声が聞こえました。2階の部屋から降りていくと、既に住民の皆さんは着の身着のままの格好で逃げている、肩掛け鞆にキャリーバッグを持った私の姿を見て「準備がいい」と言われました・・・。

消火活動は、消防隊がホースをマンションの通路を使って2階、3階、4階から放水する体で行われ、はしご車は使われませんでした。通路が火元側にあったことが、消火活動を楽しんできたように思えます。その間、マンションの住民は消防署が用意した赤いマイクロバスの中に軟禁?された状態で、インド人含め、この日初めて会話した人、初めて見る顔、そして「準備がいい」私は、充電中のスマホだけは置き忘れてしまったことを悔みました。2階の私はひたすら燃え上がる火の脅威と熱さを感じましたが、3階、4階の住人はとにかく煙がすごくて、避難時も目の前すら見えなかったと証言されていました。

無理矢理にキャリーバッグに詰め込まれたみるくは、マイクロバスの中で私の膝の上にいたわけですが、ニャンともいわず、鞆の中でピクリとも身動きしないので少し心配になりました。

消火活動が終了したのは真夜中1時過ぎでしたが、私たちの軟禁が解けたのは、更に1時間後の2時過ぎでした。住人の**安全の確保**のためには、消火後も色々と細かい条件が必要になるようです。私たちの住いは、おかげさまで類焼も免れ、放水による被害もなく不幸中の幸いではあったわけですが、キャリーバッグから出したみるくは、怯えたままで、瞳孔も開きっぱなし、暗くて狭いところへ行こうとします。私自身、緊張していたのか就寝出来たのは、空も白み出した午前4時過ぎでした。

睡眠不足で朦朧とする意識のまま出勤すると、都合の良いことに農学部の高柳敦先生が図書室に来室されました。コロナ前は高柳先生に協力頂いて、大学生協関西西北陸ブロック主催の「鹿害学習会」を行ってきました。高柳先生は、野生動物の保護保全と害獣対策のスペシャリストです。火災とみるくの状態について相談すると、「野生動物は山火事など発生すると、自分たちの安全が確保されるまでは、その場所には戻らない。犬や猫のようなペットの場合、飼い主の安全が確保されれば飼い主と一緒に元の場所に戻るわけだけけれど、その場所はけして彼ら犬・猫にとって安全が保障された場所ではないんだよな。」とのことで、まずはみるくが安心できるような環境を整えること、つまりは部屋の中に充満した焦げ臭い臭いを、最新の速乾ジェット噴射の消臭剤で除去、しばらくするとみるくも以前と変わらず広くて明るい場所で寝そべるようになりました。

火元となったスペイン料理店は、私もよく利用するお店で、スペイン人店主は古くから知人です。お店は何度か移店していて、今回の場所は1年くらい前から営業されていました。お店に忘れ物をすると、わざわざ自宅まで届けてくれるし、酔っぱらって意識がなくなると自宅まで連れて帰ってくれるような、どこの田舎の店だよ、みたいな親切で、もちろんお料理も美味しいお店なので、軟禁されていたマイクロバスの中で「火を出した以上、あそこから出て行ってもらわないと」とか言う住人の心無い言葉は、私自身辛かったです。火災の翌日、店主は右腕に大きな火傷をされていましたが、日本人の奥さまと娘さん(中高生くらい)と一緒にマンションの住人を一件毎に手土産を持って挨拶されていました。後で友人たちが調べてくれたことには、消防車が21台も出動した、けっこう大きい火事だったそうです。

防災については、大学生協でも良く取り上げられることですが、身近な火災、水害はあっという間の出来事です。同じ空間で生活するペットは家族、あらゆる避難方法を考えておく必要があると思います。今回は、運よく難無きを得ましたが、長時間の避難を余儀なくされる場合もあるでしょう。私も今回の火災を避難訓練の一つとして考え、万全とはいかないまでも、これだけあればなんとかなるくらいの備えは常日頃準備しておこうと思います。物理的な準備だけでなく、心の準備も、ね。

ネコネコアタック(18)



カラー写真・過去記事

●1年

12月16日でめいこが亡くなって1年経った。亡くなったばかりのころは、めいこのにおいを感じるもの、ガリガリサークル、期待していたよりも使ってくれなかったネコ用ベッド、キャットタワー、めいこ愛用の犬用のオモチャや、美術館で買ったモナリザの人形などすべて捨てた。そして、春を迎えるころには悲しさは薄れていき、時々めいこの話をするくらいになっていった。しかし、21世紀初め以前に比べて、ペットの、もしかしたら人間のものもそうかもしれないが、亡くなった喪失感から抜け出すのが少し難しくなっているのかもしれないと思った。だんだん悲しい気持ちが薄れてくるころに、google photoから、「〇〇年前の思い出を振り返りませんか」みたいなお知らせがやってくる。そしてその思い出にはたいいていめいこの写真が届けられて、そのたびにまだ生きていたころのことを思い出す。いつまでも忘れずにいられることは良いのだが、ペットロスには良くないかもしれない。

8年間と比較的短い猫生だったがまるで台風のようなネコだった。私の心に強く入り込みあつという間に通り過ぎていってしまった。もう楽しい思い出だけになったつもりだったが、この原稿を書いているとなぜかPCの画面が見にくくなってきてしまった。

●最近のレモン

ネコの記事を書き始めるきっかけはレモンだった。そして、一時は寝たきりになりほかのどの2匹のネコよりもふらふらしていたレモンが一番長生きしている。めいこが亡くなってレモンは少し変わった気がする。前よりも人間がいない時間を寂しく思っているような気がする。めいこが生きているころはそんなことはなかった気がするのだが、帰宅すると玄関に走ってくるようになった。しかし日中は家にいてもほったらかしだ。人間のことをかまってくれたりはしない。でもやっぱり夕方帰宅すると走ってくる。目が見えず足腰もおぼつかないのでうまく走れないけど、レモンなりに頑張っている。相棒がいなくなって寂しいのかな。1年経って少しは慣れたかな。尋ねても答えてくれないし、答えてくれたとしてもその言葉を理解できないのだけれど。

●生ビールパーティのご案内●

2月16日(金) 17:30~20:00 場所: 南部食堂

料金: 3500円

教職員委員会では、2019年までは年に1回~2回ビアガーデン、赤ちょうちという生ビールを提供し、組合員の皆様と楽しい時間を過ごすことができていました。今回は、以前とは時期が変わりましたが、初めての方も、久しぶりの方も皆様にお会いできると嬉しいです

お申し込みはこちら kyosyoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp まで



りさんの家で療養するうちにみるみるハンサムさんに変貌を遂げました。そして、サークル内から引き取りたい、との声が！



お家のチェック、及びトライアルの2週間を体験していただいた後に正式に譲渡が決定し、現在はサークルの二回生のお宅に住んでいます。なんと立派なケージまで頂いて、今では毎日元気いっぱいかわいがってもらっています！

【里親募集中】

「なごねこ」サークルでは、現在上記と同じように保護した「サビちゃん」というさび猫の里親を募集しています。サビちゃんは、推定半年くらいの女の子で、ウィルスチェック、エイズ、白血病すべて陰性です。保護した当時から涙目でしたが、治療後はだいぶよくなりました。サークル・メンバーが一時預かりをしています、たくさん遊んで、すっかり人慣れしています。里親になることにご関心のある方は、meidaineko@yahoo.co.jp までご連絡ください。お待ちしております。



ランニングノート（85）～四万十川ウルトラマラソン～

10月15日（日）に高知県で開催された四万十川ウルトラマラソン（100kmの部）に参加しました。レースとしてウルトラマラソンに参加するのは初めてです。参加の動機は、ウルトラの距離を一度は走ってみたかったこと、そして数あるウルトラマラソンの中から四万十川を選んだのは、今年度たまたま研究室の学生に四万十川周辺の出身者が3人もいたことで、一度彼らの出身地を見ておきたかったからです。

宿泊はツアーなどで混んでいるスタート・ゴールに近い四万十市市街地を避けて、70kmほど離れた愛媛県宇和島市にしました。当日朝2時前に起きてレンタカーで四万十市へ移動しました。気温は15度程度で寒くなかったのが幸いでした。レースには12時間、13時間、14時間（制限時間）のペースメーカーがいて、ウルトラが初めての私は12時間のペースメーカーに付いていくことにしました。私のナンバーカードは何故か12の若番で、目標12時間だから12と自分勝手に解釈しておきました。

スタートは朝5時半、辺りはまだ暗く、大会のために設置された照明がコース周辺を照らしていました。スタートしてから数km走ったところで、ペースメーカーが自己紹介とコース紹介を（当然走りながら）しました。コースは大雑把に言うと、最初21kmは峠越えの上り坂、そして急な坂を下って32km地点で四万十川に出て、残り約3分の2は四万十川に沿って緩やかに下るルートです。ペースメーカーにきついと紹介された上り坂は3箇所あり、15kmから21kmの峠までの6km程度、55kmから1km程度、ゴール手前99kmから500m程度です。15kmから21kmまでは、私が時々走る愛知県のくらがり溪谷から本宮山を上るコースと距離や傾斜が似ているのではないかと想像していましたが、実際走ってみるとやはりその通りでした。峠から一気に下り、四万十川が現れた頃によりペースが落ち着き、6分45秒/km程度と、普段のジョギングよりも遅いペースなのでまだ余裕がありました。

今回のレースでは、エイドは約3km毎に33箇所あり、内容の内訳は、半分が水だけ、残り半分が水とアクエリアスとコーラの軽食か、それにバナナ・おにぎり・パンなどもある給食が交互にありました。全てのエイドに寄りました。レース中に相当アクエリアスやコーラは飲んだと思います。途中でおなかの水ぶくれのように感じたこともありました。

やがて半分の50kmを越えてしばらくすると、四万十川名物の沈下橋を渡ります。これは洪水時に水没するように設計されている簡易橋で、手すりもない橋ですが、普段は車も通るようです。沈下橋を過ぎると2番目の急な上り坂があり、私は無理せず歩いて上りました。その坂を越えてしばらくするとレストステーションがあり、ペースメーカーはここで15分間休憩を取りました。レストステーションにはあらかじめ荷物を届けておくことができ、その中に着替えのシャツを入れておいたので、後半はHeForSheのTシャツに着替えてゴールまで走ることにしました。（余談：ゴールの写真を見た友人からTシャツの前後が逆と指摘され、レースでは全く気づかず走っていました。）

走り始めた頃にペースメーカーから聞いたのですが、最初から最後までペースメーカーに付いていく人は多分いないとのことでした。その時に私は内心「いや自分は付いていくぞ」と思っていました。そしてレストステーションを出たところで前後を見回したら、ペースメーカー（4人）に付いて

生協職員紹介 第37回

ブックスフロンテ
澤田 江里

■自己紹介

2023年6月に名古屋大学生協Booksフロンテの店長として着任しました。
名古屋大学生協の前は、三重大学生協（CVS/文具/教科書担当）→愛知大学生協（書籍/教科書/文具/旅行部門などの店舗の店長）を経験しています。

■どんな仕事を？

大学では文系（考古学）の専攻だったことや、異動前の店舗は文系学部の学生さんや教職員の方が大半でした。そのため、慣れない理工書や専門用語に囲まれながら、日々知識を増やしています。また、ワクワクが感じられるようなお店になるよう、店舗スタッフと一緒に品揃えやフェアなどを考えています。

■趣味・休日の過ごし方

パン作りとミュージカル鑑賞です。
パン作りは、捏ね上がりまでとても大変ですが、捏ね上がった時の生地は弾力、気持ち良さがたまりません。
また、ミュージカルは歌やダンス、豪華なセットで非日常的な時間を過ごすことができるのでよく観に行きます。一番感動したのは、「エリザベート」。最近では劇団四季「キャッツ」や「チャーリーとチョコレート工場」を見に行きました。海外でも何度か見たことがあります。英語は難しいですね。でも、難しいなりにとても楽しめました。

■読者の皆さんへひとこと

コロナ禍を経て少し遠くなってしまった「Booksフロンテと組合員の皆様との距離」を少しでも埋めて、フロンテや生協を身近に感じていただきたい！という想いで仕事をしています。



ワクワクするような店舗を目指してフェアやお店作りをしています。是非フロンテへお越しください。皆様の声も取り入れたお店にしていきたいので、ご来店された際には本のお話やフロンテへの声など直接お声がけください。お待ちしております。

名古屋大学生協
●Booksフロンテ
大学内線7544/外線052-781-9819
※営業時間については生協ホームページにてご確認ください。
<https://www.nucoop.jp/>

▼ご自宅や研究室から本の注文ができます
※大学生協オンライン書籍注文サイト
<https://online.univ.coop/book/>
※大学生協洋書サイト
<https://yosho.univcoop.jp/BookShop/>

名大グッズ紹介 第37回

名大手拭い

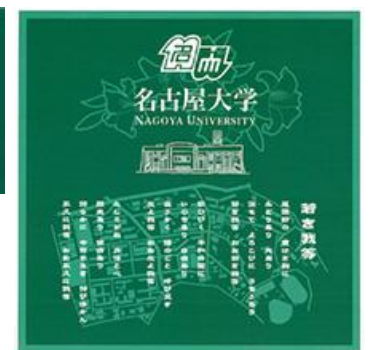
税込660円



名大小風呂敷

税込770円

若き我等の歌詞と豊田講堂、東山キャンパス
マップイメージを印刷



いたのは私だけで、ペースメーカーだけ余裕で雑談しながら走っていました。ちなみにペースメーカーの1人は、2週間前にギリシャで行われたスパルタスロン 246km を完走した人で、疲れはないのかと聞いたら「大丈夫」と答えた強者でした。かく言う私はそのあたりで気力が減退し、3分の2の67キロ手前でペースメーカーに付いて行けなくなりました。以降はペースダウンをし、歩く・走るの繰り返しとなりました。四万十川は岐阜県のいびがわのような景色でしたが、スケールが倍くらい大きく感じました。最初のうちは見惚れていましたが、そのうちに行けども同じような景色が続き、永遠に終わらないのではないかと、この景色ももういいやと終盤は思うようになりました。

スタート時には日の出前で暗かったのですが、ゴール前には日は沈みまた暗くなってきました。最後に上り坂があり、そこもきついとペースメーカーに言われていたのですが、いざ来てみると大したことはなく、ほとんどの人は歩いている横を気力を振り絞ってゴールまで走ることができました。12時間35分52秒でした。目標12時間は達成できませんでしたが、とりあえず完走できました（途中何度も歩きましたが）。ゴール後はすぐにまたレンタカーで宇和島に戻り、ホテルで温泉に入って汗を流した後、閉店間際の居酒屋で宇和島名物の鯛めしと、秋田県知事で一躍有名となったじゃこ天を肴に乾杯しました。

今回のレースで学んだことは、「ペースメーカーに付いて行っはいけない」ということでした。どういうことかということ、途中で何度かトイレに行ったのですが、その度に置いて行かれて、ペースメーカーに追いつくのにペースを上げて数km走る、の繰り返しで、これで結構消耗しました。当たり前なのですが、ペースメーカーはあらかじめ決められたペースを守って走っており、個々人のトイレ（あるいはエイドでのレスト）のために待ってはくれません。ウルトラならまだしもフルはもっと余裕がありません。逆に言うと、ペースメーカーに最初から最後まで付いて走れるのであれば、そのペース以上の走力がすでに十分あると言うことです（つまりペースメーカー不要）。なので、もしペースメーカーのペースを目標としてゴールしたいのであれば、最初の余裕のあるうちはそれより速いペースで自分で走り、最後の苦しい頃にペースメーカーに追いつかれて、それに付いてゴールするくらいがちょうど良いということです。

永峰康一郎（情報学研究科）



スタート
ペースメーカーに付く



沈下橋を渡る



ゴール
Tシャツ前後逆だった

盛り込まれなかったし、自治体のなかには「子ども条例」「子どもの権利条例」を制定して独自に制度を置いているところもあるが、二〇二三年五月現在で六四自治体にとどまっておらず、全自治体数のわずかに三・五%にすぎない（地方自治研究機構調べ）。

*

だからこそ、今年、私は教育学部のゼミで、学生たちとともに子どもの権利研究に取り組んでいる。ちょうど三〇年前のゼミで研究課題とされたことを、今年のゼミ生に課している。子どもの権利条約に批准すれば子どもの権利が守られるわけでもなければ、こども基本法が制定されればそもそもすべての問題が解決するわけでもない。子どもの権利の理念に即して、具体的な何ひとつの問題について、何が権利侵害にあたり、何がそうでないのか、どのようなことがあれば権利侵害

害と判断されるのか、審査の密度を高めていかなければならない。そのためには、海外の理論水準や理論成果をふんだんにとり入れていかなくはならないし、それらを日本の国内法に即して適応させていく必要もある。何よりも子どもがおり、これらも子どもがおり、これらは重大な権利侵害である」とか「権利侵害の可能性が潜んでいる」と洞察することのできる強い感受性や共感性が求められる。例えば、子どもの権利条約にもとづいて国連に設置されている子どもの権利委員会（各国の子どもの権利の状況をモニターして各国政府に対して制度改善等の勧告を行っている）は、子どもの権利をあらゆる角度から常に掘り下げて深めているが、直近のところでは、「デジタル環境と子どもの権利」（一般的意見二五号、二〇二一年）、「気候変動と子どもの権利」（一般的意見二六号、二〇二三年）といった見解を発表している。デ

ジタル化社会が子どものどのような権利を侵害する可能性があるのか、気候変動が子どもの将来にわたる幸福をどれほど危うくしているのか、直感的に鋭く問題の本質をとらえることができなかったら、なかなかこうした観点から研究課題を立てることは難しい。ジャニーズ事務所の性加害の問題も、これが重大な子どもの権利侵害のひとつであるとの受け止めはまだまだ弱くはないだろうか。ロシア軍によるウクライナ侵攻やイスラエル軍によるガザ地区への大規模な軍事行動なども、子どもの権利の問題としてもとらえ返す必要がある。ある国会議員が民族差別的発言や性的少数者に対する攻撃的な発言を繰り返しているが、これを子どもへの権利と尊厳を著しく傷つけるものであることに私たちはもったもったと敏感であってよいだろう。そう、とどのつまり、私た

ちは「子どもの尊厳」ということに、どれほどしっかりと向き合えるのかが問われているし、これまででもずっと問われてきたはずだ。私には、とても重たいランドセルを背負って学校に通う子どもたちも、難しいテスト問題を押しつけられて勉強嫌いとなってしまうている子どもたちも、無防備なインターネットによって制約のない情報にさらされ惑わされている子どもたちも、子どもの大切な尊厳が切り裂かれ、踏みにじられているように思われてならない。今年のゼミ生たちは、いま、「紛争と子どもの権利」「デジタル学習と子どもの権利」「性被害・性教育と子どもの権利」「校則と子どもの権利」など、多様で魅力的なテーマで研究を進めている。子どもの権利の新しい地平を切り開いてくれるようなブレイクスルー（発見）がきつとあるに違いないと、期待で胸が高鳴る毎日、私は過ごしている。

教育発達科学研究科リレー・エッセイ1

子どもの権利と尊厳について

石井拓児

今年、二〇二三年四月一日より「こども基本法」が施行されたことはご存知だろうか。こども基本法は、日本国憲法および国連・子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）の精神にのっとることが明示され（一条）、一九八九年に国連で採択された子どもの権利条約の四つの一般原則を基本理念として掲げている（三条）。私が名古屋大学教育学部、に入学したのは一九九二年、その頃はまだ「教養部」というものがあったので（名大の一年生と二年生は「一般教養」と呼ばれる所定の授業単位数をそろえないと学部には進学できなかった）、学部専門の授業を受けたのは一九九四年からであった。日本政府は世論に押されてこの年、ようやく子ども

の権利条約に批准したばかりだった。学部はかなり多くの授業で子どもの権利条約を取り上げられていたことを今でも覚えている。なかでも、榑達雄先生のゼミでは、受講生が各自で検討して依拠しようとする子どもの権利を条文のなかから見つけ出し、子どもの権利の観点から現代日本社会全体や学校教育活動における問題や課題について教育的に検討せよという、いま考えてみてもなかなかハードなレポート課題が課された。同学年の友人たちが、子どもの表現の自由に即して制服問題や校則問題を取り上げて検討したり、不登校や高校中退の問題を取り上げて子どもの学ぶ権利の保障のあり方を追究したりして、たいへん学びの

今号の「かけはし」から、教育発達科学研究科の先生方によるリレー・エッセイが始まります。以前連載していた人文科学研究科のリレー・エッセイと同様に、特に話題の制約はせずに、各人の好きなテーマという形で連載になります。教育発達科学研究科ならではの視点や人文学研究科との雰囲気の違いなどもお楽しみいただければと思います。

（編集担当 神野）

多いゼミだったとの思い出がある。後に榑先生は名大生協の理事長を務められていたことも、何かのご縁かもしれない。

ゼミ中、日本の子どもの権利条約の批准が条約制定から五年も経ってからであること、世界でも一五八番目とかなり遅れてのことであることの背景に、日本政府の子どもの権利に対する消極的な姿勢があることを、榑先生は鋭く批判されていた（そういえば、榑先生は中日新聞に「辛口教育評論」というコーナーを連載されていて、舌鋒鋭い語り口を間近で直接聞くことができたのはラッキーなことだった）。子どもの権利に関する包括的な法律である「こども基本法」の成立は喜ぶべ

きことではあるが、条約成立から三四年も経過してしまっていることをあらためて厳しく指摘しておく必要がある。

こども基本法には、残念ながら子どもの権利を守るための実効的な手立てが整えられていないことを批判するものもある。子どもの権利の進捗状況を監視（モニタ）したり、具体的に子どもの権利が侵害されている場合に権利を救済したり問題解決を目指したりする制度として、「子どもアドボカシー制度」や「子どもの権利擁護制度」「子どもオンブズマン制度」が整備されるのが世界各国で標準となっている。日本では、今回成立した「こども基本法」にはこのような制度的な仕組みは

かけはしの輪

前号の感想

★山崎さんのランナーズ記事がなくて寂しかったですが、新シリーズの科学ものはとても読み応えありますね。これからも楽しみにしています。【はる】

（編）そう言っていたけると、山崎さんに書いてもらっている甲斐があります。山崎さんにも伝えておきますね。

★面白かったです【匿名】

（編）ありがとうございます。今後ともかけはしをよろしく願います。

★新しい食堂は、広くてきれいでいいですね。

入り口が狭くて、混雑時にどの列に並んでいるのがわかりにくいのが玉に瑕ですが、美味しいメニューを期待しています。【Nonber6】（編）たくさんの感想をありがとうございます。生協の食堂とは思えないほどきれいですよね。並ぶ列が分かりにくいというのは、私も思いま

生協への意見・通信

★レシートに食べた食事の栄養情報（最低限、カロリーと塩分量）を載せてほしい。

もしくはアプリですぐに分かるようにしてほしい。【Nonber6】

（編2）レジのシステムにつきましては全国の大学生協で共通のシステムを導入したのですが、導入経費削減のため、栄養情報やカード残額についての表記のないシステムに変更となりました。申し訳ありません。アプリで栄養情報がわかると良いですね。理事会に提案してみます。

★古い北部生協しか知らなかったのですが、今どきのお店になった写真を見て行ってみたい気持ちと古い店舗がなくなるさみしさとで複雑な気分になりました。【花中島マサル】

（編）私も、初めて利用した時から生協は古かったので、新しいのは嬉しいけど古いほうも懐かしさもあり、「複雑な気持ち」よくわかります。存在する語彙では表現できない複雑な気持ちですよね。

編集部より

読者の皆様からの「かけはし」へのご感想ならびに生協にたいするご意見沢山いただきありがとうございます。

すべてに目を通させていただき、最大限この「かけはしの輪」に掲載させていただいております。

次号以降の制作ならびに生協運営の参考とさせていただきますので、今後ともぜひよりしくお願いいたします。

今回は漢字クイズをご用意いたしました。解けた方も解けなかった方も、巻末のクイズのページ左上に付いているQRコードからご意見をお寄せください。パソコンからのアクセスの場合は「かけはし クイズ回答」のキーワードで検索していただけますとクイズ応募フォームのページに行くことができます。

ご応募の際、「かけはし」の感想、生協へのご意見など、なんでも結構です。お書きいただければと思っています。



CO-OP QUIZ

No. 365
2024年1・2月号

364号の回答：ジャガイモ

以下の①または②のクイズが解けたら（両方でも）、どちらのクイズの回答かを記載して、応募してください。意見や感想だけでもお送りください。

①. A・B・Cの中から仲間外れのものを一つ選び、その3つの仲間外れの中の仲間外れのものは何でしょうか

A：ナス・ピーマン・トマト・ジャガイモ・スイカ※スイカはウリ科、それ以外はナス科
B：モモ・ナシ・リンゴ・スイカ※スイカ以外は果物
C：スイカ・キュウリ・ジャガイモ・カボチャ※ジョガイモはナス科、またはジャガイモ以外は果菜

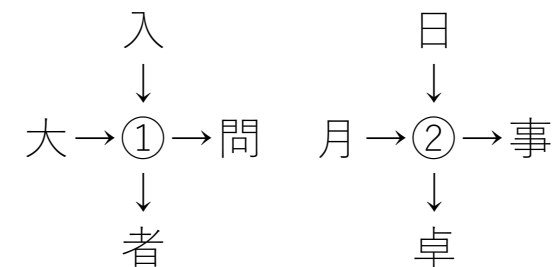
従って、スイカ・スイカ・ジャガイモの中で仲間外れはジャガイモ



364号詰将棋の作意： 1九龍、同玉、2九金



中央の①と②に漢字を入れて、矢印の方向に読んで二字熟語をそれぞれ4つずつ作ろう。さらに、その①と②とを並べて二字熟語を完成させよう。それがクイズの答えです。



答え：①②



○ 締切は1月31日 （正解発表は366号） ○ 応募は左上のQRコードから ○ クイズ正解者へ意見や感想の 記入者（いずれも生協加入者 但し、当選後のご加入も可）の中 から、抽選で5名の方に図書カー ドをお贈りします。 ○ 生協へのご意見・ご要望をどしど しお寄せください。	応 募 要 項	当選者の方はお手数ですが、東 山地区（北部生協1階組合員コー ナー）、鶴舞地区（医学部書籍）、 大幸地区（大幸購買）まで図書カー ドを受け取りにお越しください。ま た、店舗休業中の場合はお手数です が、営業時間中にお越し下さい。	364号の正解者 応募総数 5名 正解者数 5名 当選者（敬称略） 渡部 温（理学研究科） 伊藤 久美子（理学研究科） 富山 未来（医学部付属病院） 湯川 伸樹（工学部） 谷口 光隆（農学部）
---	-----------------------	---	---